

★鯉川筋、朝の風物詩



鯉川筋で朝の風物詩として地元での話題、近畿産業信用組合の朝礼姿のご紹介。神戸支店の前で職員全員が並び、始められる。

「いらっしゃいませ」

「はい、かしこまりました」

「少々お待ちくださいませ」

「お待たせいたしました」

「有難うございました」

と元気な声が重ねてこだまし、鯉川の一日が始まる。今では通り行く人々には馴染みの光景となっている。

『震災、長引く不景気の二重苦。

まずは挨拶から元気印を皆様に伝えた。また、職員皆が一つになる始まりでもあります。』と谷山支店長。

当初は外で声を出し、通り行く人々の視線には恥じらいもあったようだが、「ガンバレ神戸」との思いにそれは一掃され、逆に地域の皆様から「ガンバレ」と励まされ、支店の成績は伸び、高く評価されている。

★新緑の坂道が大賑わい 「第2回鯉川山手アーバンフェスタ」



▲ロックバンド「FREEDOM」のライブ中に矢田神戸市長が訪れ、メンバーもびっくり（写真右）「味娘」がさわやかなライブを（写真左）

◆獅子舞が練り歩き、大道芸人ポンタくんは子供

◆鯉川筋はクラシックカーバレードのチェックポイントに、山手幹線沿いのライブステージには大きな鯉のぼりが泳いでいた

5月10日、神戸クラシックカーバレード「ポンテペルレ2003」に合わせて、鯉川筋で「鯉川山手アーバンフェスタ」が開催された。目玉はクラシックカー108台が、新緑の坂道を上っていくポンテペルレ名物・鯉川筋通過ではあったが、通りには朝から手作りのおだんごやメロンパン、わたあめや駄菓子などのお店が出店、神戸華僑総会舞獅隊による獅子が各店をまわって華麗な舞いを披露するなど、ポンテペルレに負けない熱気がクラシックカーを出迎えた。

ライブステージでは、ヴァイオリンの音色と歌声がさわやかなバンド「味娘」がボサノバやラテンジャズを演奏。また男だらけのロックバンド「FREEDOM」の熱い演奏に子供たちも熱狂。彼らは自分たちで作った鯉川筋の歌も披露し、イベントを盛り上げた。

揃いのグリーンのジャンバーに身を包んだ鯉川山手まちづくり協議会の皆さん、イベント運営やバレード中の交通整理などを担当、人々の手による暖かいまちづくりが感じられた。麗しのクラシックカーを見ようと集まつた人々も、存分にイベントを楽しんだ様子。

★夢見る中年騎士たちが創った「ドンキイ・バレー」



「おやじ城」人生を送っているすべての人々へ、活性ヴィタミンを注入するぞ!

神野 六代山園「中年負け目」(昭和61年)、『前』健次「中年の工事記録! 第118号』(筑摩)、北野アキラ著『ドンキイ・バレー』(筑摩)

◆ドンキイ・バレー建設の工事記録は、仲間のひとり溝川昌明さんが「ドンキイ・バレーの冒険」としてエッセーにまとめている



▲木々の中にガーデンレストラン「風舎」の建物が見える



◆石の炉でバーベキューもできる。



▼写真は季節のランチ(1500円)ディナーはコース3000円~で、心のこもった料理が売り



▲独自性、継続性、非日常性をキーワードにしたと北野さん

ドンキイ・バレーは、三宮駅・神戸駅から車で約15分・兵庫区の菊水山ゴルフクラブの奥にある。かつては、ゴルフ場の一部として使われていたこの場所に、想いを持ち続けていた北野修三さんは、失業中の同窓生や、園芸師たちの仲間とともに土地を開拓し「大人の癒しのエリア」として再生している。「ドンキイ・バレー」は、自分たちの夢を追い求める団塊世代の姿を、騎士ドンキイ・ホールになぞらえてつけられた。

園内にはアットホームな乗馬サーカル「トウインクル」、ゆったりした広さのブルーベリー畑や、ローズ&ハーブガーデンがある。神戸の街や港を見渡す頂上にはガーデンレストラン「風舎」。カントリー調の小さな建物のわきにはスマート小屋があって、そこで作る自家製のくんせいを使った手作りの料理が楽しめる。

煙や小屋は、ほとんど自分たちの手作り。「できる範囲のことは、多少へタでもプロに頼らずに自分たちの手で創ろうとやってきました」と北野さん。五感すべてを肌で感じることのできる非日常の空間である。



■ガーデンレストラン「風舎」TEL. 078-511-2400 営業11:30~19:00(平日18:00以降は要予約) 火曜休

★生田川沿い遊歩道に 「處女塚」再建

三月十四日(金)生田川の神若橋西岸遊歩道に「大和物語生田川之段處女塚傳承之地」と標された石碑が建立された。

工事の一環で遊歩道が整備されたのを機に、郷土の歴史を後世に伝えようと地元有志でつくる處女塚再建世話人会(代表増田進氏)が建立した。

もともと生田川周辺は生田の里と称した。布引の瀧や生田の森は万葉人に愛で親しまれ、数々の伝承を語り継いできたが、特に平安中期(九五一年頃)に成立した大和物語には、生田川を舞台にした菟原處女伝説という悲恋の物語が記されている。

はるか昔、生田川の畔に一人の美しい乙女が住んでいた。その評判を聞きつけた二人の若者が求婚したが、二人の容姿、性格があまりにもそっくりな為、乙女は生田川に遊ぶ一羽の水鳥を弓矢で射抜いた者と結婚すると約束するが、二人ともその水鳥を射抜き、思い悩んだ乙女は生田川に身を投げた。この物語は、実話をもとに編纂されたと伝えられ、藤原定家の和歌や観阿弥の謡曲にも、また近代では、森鷗外や菊池寛といった文人たちの作品にも、深く影響を与えてきた。

處女の墓と伝えた塚など、多くの史跡が現存したそうだが、明治初期の生田川付替や道路拡幅によつてことごとく破壊され、史実から消し去られた。しかし、歴史は時を経て後世に語り継がれる。



▲地元住民、世話人会のメンバーが参加して

▼行われた入魂法要



有馬歳事記

有馬のひとを訪ねてー北村忠敬さん／有馬小学校校長▽

ホタルが舞い、励ましあう学校 に有馬小学校校長先生の夢



北村忠敬校長先生。
ひょうたんの棚を制作中だったため作業着で

全校生徒38人の神戸市立有馬小学校。校長の北村忠敬先生は来年定年を迎える有馬の名物校長。6年前に赴任後、校庭にはホタルの幼虫飼育のための美しい水の流れを造り、町民が参加する文化祭等を提案。いつの間にか有馬小学校は、子供たちだけでなく地域の人々が集う場となつた。

北村先生はそれこそが学校の姿だと言う。「もともと学校は寺子屋で、地域の人を作ったもの。学校は地元のものなんです。町の人々が何を願っているかをつかむのが学校の使命だと思う」。兵庫高校卒業後、東京に出て働きながら大学に通った。大学在学中には日中友好を願い、学生友好団として、当時国交のなかつた中国へわたつたこともある。

小さい頃から合気道、居合いなどを習い、合気道創始元の植芝盛平さんの姿勢に影響を受けた。合気道は素手で相手を押さえる武道。「これからは戦争ではなくて、平和な時代が来るといふ植芝先生の言葉に影響を受けて、日中国交が夢だった」。東京で10年間、ホテルのボーカイや営業、新聞屋などさまざまな職種を経験し、神戸に戻ってきてから、高校時代の友人の「先生に30才で教師になつた」。

一方、有馬小学校では、13年前から環境局の指導でホタルの幼虫・カワニナの飼育と放流を行なつてゐる。

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoce.co.jp>

有馬温泉月光園
GEKKOEN

鴻臚館
KOROKAN
TEL (078) 903-2255
姉妹旅館 游々山荘
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぴり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024

攝津 有馬
宿 所 功
TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

町内の中心となる有馬川にも、毎年ホタルが飛び交って観光客を楽しませている。

て、完成したら小学唱歌を流そうかとも考えている。

なく全員来てくれたら一番嬉しいと、これが校長先生の願いやと言えます」。

山からは、飲むこともできるきれいな水が湧き出しており、北村先生はこの水を

校庭の周囲に流し、カワニナを育てるなどを考えた。

学校では、月に一度、有馬の芸妓さんが教える三味線や、裏千家の茶道などの教室を行なっている。菊を

お祭りや、旅行や、何でもいいから、みんなが目を輝かせて取り組むようなことをしたら、いじめなんかしない間がないですね。だから私はあまりこまごまとは

いつも言っているんです。お祭りや、旅行や、何でもいいから、みんなが目を輝かせて取り組むようなことをしたら、いじめなんかしない間がないですね。だから私はあまりこまごまとは

水車小屋を建てようとも考

めた。それから北村先生自身が水の流れや水車小屋の設計図を考え、六甲山から丸太を運び、すべて手作りで、今年10月の完成に向けて現在建設中だ。

「池を造って、小屋を建

て、完成したら小学唱歌を流そうかとも考えている。

これはみんな私や町の人の夢なんです。先生も、地域の人も、池の建設に協力してくれた三ツ星ベルトさんや企業の方々も、みんな夢

に対する協力してくれる。

夢の前には何ら苦勞もない。子供たちには、夢や希望を

栽培し、相楽園の菊花展に出品したり、秋には町民も

「池を造って、小屋を建

て、完成したら小学唱歌を流そうかとも考えている。

これはみんな私や町の人の夢なんです。先生も、地域の人も、池の建設に協力してくれた三ツ星ベルトさんや企業の方々も、みんな夢に対する協力てくれる。

野鳥と子供のためにビワ、イチジク、ナシなど児童1人1本38種類の木を植える予定



野鳥と子供のためにビワ、イチジク、ナシなど児童1人1本38種類の木を植える予定



神戸一輪車競技大会50mスprintで優勝した炭黒康くん



先生の後ろが建設中の水車小屋。実際米をひく。これから茅を葺く予定

有馬をアピールする「ゆかたレディ」募集

有馬温泉観光協会青年部では、有馬温泉でのイベント等で活躍する「ゆかたレディ」を募集している。対象は、ゆかたが好きで、有馬温泉が好きな心身ともに健康な女性ならどなたでも。賞金は、第1位（1名）が10万円。第2位（2名）は5万円！

●募集締切 7/12（土）
書類選考を通過した方は、8/2（土）に有馬温泉で行なわれる「ゆかたレディコンテスト」に出場し、結果発表。くわしくはホームページ（arima-onsen.com）で。

有馬での食事・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめる「リバ「華館」」で!!
（昼5000円～、夜8000円～）

有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701
チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

中の丸珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

本棚戸の



大河奔流

王泰平



奈良日日新聞社
2500円(税込)

きこちなく、ときには不様
だが、真摯に身を処してき
た、愛してやまない時の集
積がある。

壊れゆくとき
さやさや



文芸社
1000円+税

駐大阪大使級総領事・王
泰平が戦後の中日関係を振り
返り、歴史の裏舞台を語
る。特派員・外交官の目を通
し、両国の友好発展と世界
平和を念じ執筆した人間
ドラマは、国交正常化への
道のりを証言する。

美男と美女の置き土産
伊勢田史郎編著

編集工房ノア
1800円+税



普通の市民二十二人の
『私が愛した人生』四集目
となる。ここには多様な体
験を生きてきた仲間たちの、

美男と美女の置き土産
伊勢田史郎編著

され、作者の繊細で鋭敏な感
受性と、詩作に対する誠実
な意志が窺われる。自身も
パニック障害などで悩みや
苦しみを乗り越えてきた著
者からの、心の病に苦しん
でいる人達に、「独りばっ
ちじやない」というメッセージ
がこめられている。

大人にならずに成熟す
る法
サントリー不易流行研
究所編



中央公論新社
2000円+税

過去の踏襲や欧米モデル
ではない成熟社会を生きる

技術のヒント集。混迷する
社会状況の中、一筋の明る
い光が感じられる。成熟し
た社会を幸せに生きること
の意味を考えるきっかけに
なる一冊。

発毛・育毛の新常識
東田雪子



日刊工業新聞社
1400円+税

髪の毛は、間違ったヘア
ケアさえしなければ決して
なくなることはない。昨今、

若者の髪のトラブルの原因
のほとんどが、シャンプー
の選択ミスや、必要もな
いのに育毛剤を使用し続け
た結果によるものである。

ヘアケア本来の目的は、もつ
とも豊かで美しい髪の状態
を維持するために、頭皮を
常に清潔に保つことであり、

断じて「育毛剤を使用する」
ことではない。脱毛症を発
症させてしましても、皮下
組織が健康であれば発毛・
育毛は簡単に達成できる。
髪に悩むすべての方に役立
つ本。

手話ボランティア入門
谷千春+中井貴恵



旬報社
1500円+税

NHK教育テレビ「みんなの手話」の講師であり、
手話技能検定協会の理事で
もある谷千春先生と、ボラ
ンティア活動で「大人と子
どものための読み聞かせの
会」している中井貴恵さん
が、手話の基本からボラン
ティア活動にいたるまでわ
かりやすくアドバイスした
本。手話は、子どもたちへ
の読み聞かせ(手話朗読)
から社員研修や接客サービ
スにいたるまで様々な形で
重要視されている。手話を
身につけて、ボランティア
をはじめてみよう。

★ 今月ご紹介いたしました
本を抽選の上、読者のみな
さまにプレゼントいたしま
す。詳しくは、P.112「ブレゼ
ントメイトを」ご覧ください。



★新神戸オリエンタルホテルアベニュー2Fにギルド&アンティーケスクエア

新神戸オリエンタルホテルアベニュー2Fに、四月二十六日、新神戸オリエンタル劇場のあるフロア全体に合資会社／山口デザインアソシエイツ（代表・山口義明）と株式会社福岡ドームの企画設計デザインによる「ギルド&アンティーケスクエア」がオープン。

ファッショニヨン発信の地神戸らしく、神戸発の伝統とこだわりを持つ工房及びアンティーケが集まるオンラインショップは新鮮だ。

この一画に、神戸出身の画家坂上博章氏の作品展と、ヴェネツイアンガラス作家吉田秋雄氏の作品を展示販売する。ギャラリーピオRTABELLOも同時に店開き。

デザイインにたずさわった山口義明氏は、ウェザーリポートを初め、最近は元町入口角のジャバビルも設計。注目のデザイナー。

「ギルド&アンティーケスクエア」には、西洋アンティーケTO KIや、クロコダイルレザーグッズ専門店のCRCODILEとか、マイセン俱楽部など、一店一店見て味わいのあるお店ばかり。新しい神戸のショッピングゾーンの出現。劇場のお帰りにぜひお立ち寄りを。

Un petit café de Kobe 2003

その③

過激なぼつじり系カフェ

S.i—on 紫隱

信時 哲郎

神戸市中央区琴ノ緒町四一—三八七
TEL 078 (2551) 1545

営業時間 営業時間 11:30 ~ 22:30
定休日 日曜



過

激なカフェ…… それがこの店に初めて入った時の印象だ。

そんなことを書くと、キングコングが壁から顔を出しているようなカフェを思い浮かべるかもしれないが、S.i—onの過激さは、もう少し違ったものだ。

既にS.i—onを知っている人は、「あのぼつじり系カフェの、どこが過激なんだ」と思うかもしれない。が、S.i—onの過激さとは、まさにそこにある。

まずはその立地条件。「琴ノ緒町」と聞いて、はつきりと場所を思い浮かべることのできる人はどれくらいいるだろう。三ノ宮駅の北東にあたる部分。JR三ノ宮駅から徒歩でほんの一分ほどだが、この辺はカフェ不毛の地どころか、いわゆる商業地ではないから、よほどのことがなければ足を運ぶ人も少ない。

しかもS.i—onがあるのは阪急の高架下。ほつこりなごむには、電車の轟音と振動は激しい……インテリアも高架下特有のコンクリートの柱が剥き出して、表面に白いペンキを塗っただけ。そして照明は蛍光灯。



しかし、普通なら三階建てにしてもいいくらいに天井が高いのに、ロフト席を設けただけ。奥行も、かなり深いにもかかわらず、座席数はわずかに二十六。フロアや家具には木を用い、ソファ席もある。つまりSi-ionは、こうしたソフト戦略で、「一〇〇%のほっこり系カフェ」になつてるのである。いや、もう一つ。店長の村上陽子さん(28)の笑顔も、Si-ionの過激さを見えてくくるする武器だろう。

村上さんが飲食業に携わるのは、実は初めて。

カフェを開かないかと知人に薦められたのが昨年の十一月。年末までエステティシャンを勤め、今年の二月一日にオープンしたのだというから、驚くほどの「早業」である。もしかしたら業界の常識がよくわからなかつた故の大胆さ、過激さであつたのかもしれないが、とにかく稀代のアイディア・ウーマンであることだけは間違いない。

「カフェ・ブームはもう、一段落ついたと思つてますし、不況というのも身にしみて感じてます。でも、どうせ食べるんなら、ちょっとしゃれた場所で、暖かく迎えてもらつて食べたいという気持ちは、いつの時代も変わらないと思うんです。たしかに村上さんは、飲食業こそ初めてだつたかもしれないが、サービス業に携わるうちに、カフェの本質的なものを既に掴んでいたようだ。

最近、女性のリビーター客が増えてきているといふSi-ionだが、場所柄なのか、専門学校の学生や近辺で工事をしている人たちも、よく昼食を取りに来るという。夜にはアルコールを出していことがある。サラリーマンの客も多いらしい。

立地やインテリアが過激だというだけではない。

もしかしたらSi-ionは、一段落したカフェ・ブームの次の形態の「カフェ」に向かっているのかもしれない。



▼ロフト席からゆったりした客席を見おろす



▲高架下に突然現れるカフェ



コーヒー	400円	500円	(アイス)
カフェショコラート	600円		
ガトーショコラ	500円		
オリジナルバフェ	600円		
ハートランチ	500円		
日替りほっこりlunch	750円		
カレilunch	800円		

のぶときてつるづ
63年神奈川県横浜市生まれ。神戸山手大学人文学部環境
文化学科で宮沢賢治や都市と文学について教えていた。



食材にこだわれば
毎日日替りは当たり前
中国料理「椿苑」

シェフの顧生発さんは、家が中国料理店を営んでいたため、家の台所がすなわち厨房だったとか。春日野道の家庭的な店で、一流中國料理が食べられると評判の店。常連客はレストランのシェフやいわゆる食通のみなさんなど、口の肥えた人が多い。これが食べた人が「お客様」とぼくが一緒に成長してきた店

という。こだわるのはやはり食材。エビでもアワビでも日本の産地からいいものを仕入れる。「野菜は、日本の農家は研究熱心だし、日本の野菜が世界一じゃないかな。どんなものでも中華に合うからぼくも楽しい」と顧さん。

食材は毎日仕入れるので、メニューは当然のことながら日替り。いいものばかりを使うので、値段も格安とはいかない。でも例えば千円のチャーハンでも、新鮮なサクランエビや野菜をたっぷり使ったそれなりの千円なのだ。「値段が値段だし、失敗は許されないから、ふだんから体調を整えている。お金いただいているんだから、お客様が納得するものを、素直な気持ちでやつてるだけ」と顧さんは話す。フカヒレの刺身風ねぎ風味（5千円）、ねぎとチャーシューとくらげの涼排（1500円）、基本スープからちがう汁（1000円）など一品

もあるが、おまかせのコース料理が食べ得。ランチコースは3000円、ディナーは料理のみで600円で、小さなお店でシェフ一人のため、ディナーは予約が必要。

■椿苑
神戸市中央区旗塚通3-1-18
ベルメゾン旗塚1F
☎ 078-272-0811
11:30~14:30 / 17:00~21:30
水曜休

ビール好きななら飲みたい
椿苑地ビール
「神戸ビアストリート」

日本でまずビール、と言
うとゴクゴク飲んでブハ、
というイメージがあるが、
本場・ベルギーではビール
は味わって飲むもの。各地
の地ビールや修道院で作ら
れたビールなどがあるが、
それぞれの味がまったくち
がい、楽しめる。

昨日11月に鯉川筋にオ
ブンした「神戸ビアストリ
ート」オーナーの山口啓介さ
んは、イギリスのパブで飲
んだビターエールの味にひ
かれた。その後、東灘にあ
る手作りビールの材料販売
店・ピアクラブオブジャバ
ンの社長と出会い、手作り
ビールの大団・アメリカに
出かけ、ローカルビール
(地ビール)のとりこに。店
では、ピアクラブオブジャ
ンが地ビールを作ってい
る「ピアクラブ工房」で作
られたオリジナルスタイル
のビールが飲める。ビール
通がやって来る店だ。

ロンドンのパブで飲まれ
ているペールエール(レギュ
ラ-680円・スマール4
80円)。4000年前から
ベルギーにあるスタイルで、
オレンジビールのさわやか
な香りとコクがあるヒュ



花阪急春日野道駅を北へ。椿の絵が目じるし



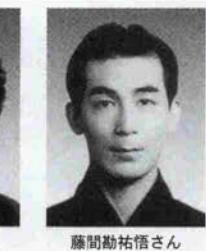
。

さまざまな種類の地ビールが樽出しで飲める



顧生発さんと奥さまとふたりでお店をきりもりしている

十帖より舞踏劇「浮船」。藤間勘祐悟、藤間莉佳子ほか、藤間流のそぞろたる出演者が顔をそろえる。チケットのご予約は神戸つ子まで。



藤間勘祐悟さん



小村亮三さん

宮崎京子さん



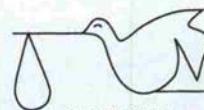
100回目を迎えるサロンコンサート

★兵庫県立美術館
開館1周年記念ミュージアムコンサート
6月5日(木) 兵庫県立美術館「芸術の館」・ホワイトホールにて午後7時より、ソロコンサートがこの6月で100回目を迎える。100回記念コンサートは、6月19日(木) 16時～17時

アコヤ真珠は、日本の四季と豊かな海がはぐくんだ自然の芸術。しかし、今やその真珠を生み出すアコヤ貝が生育途中で病気になつたり、死んでしまつたりしている。それは工場や車からでる大量の排気ガスが空気を汚染し、空気が汚れた影響で酸性度の高い雨が降るため森が枯れ、森から流れくるはずの豊かな水が減り、川からの汚れた水が原生し、海が汚れ、貝や魚が住みにくくなつてきているからである。ひと粒の真珠ができるまでに、こんなにたくさんの問題が影響し我々にも同じことが影響している。この環境が少しでもよくなつていくために「NPOひと粒の真珠」はまず広葉樹を植えることから、運動をスタートさせた。広葉樹を植えることにより、栄養ある土から滋養あふれる水が、川から海にたどりつき、豊かな水がアコヤ貝を成育させ美しいアコヤ真珠を生みだすのである。今からでも遅くはない、ぜひこの活動に参加して、できるところから一步ずつ進めていこう。一口1000円から、寄付金を募っている。くわしくは「NPOひと粒の真珠」 <http://www.npo-hito.tsubu.com>

★ニッターズサロン前川三富で小さく光る「一ツ展」
KFMのファンタジイナル「ラルゴ」・マルティーニ「愛の喜び」、メンデルソーン・浅井康子、マンドリン・糸井謙三。曲目はヘンデル「ラルゴ」・マルティーニ「愛の喜び」、メンデルソーン「歌の翼に」など。美しい名歌のかずかずをどうぞ。入場料3000円。

がみんなで歌えるコーナーもある。くすもとお茶の屋台や、過去のポスター・写真などの展示もあり、とても楽しいコンサートになる。問合せは鐘紡記念病院まで。TEL 078-681-6111
★鐘紡記念病院100回記念コンサート
明るくおしゃれな鐘紡記念病院では、ロビーでのサロンコンサートがこの6月で100回目を迎える。100回記念コンサートは、6月19日(木) 16時～17時
アコヤ真珠は、日本の四季と豊かな海がはぐくんだ自然の芸術。しかし、今やその真珠を生み出すアコヤ貝が生育途中で病気になつたり、死んでしまつたりしている。それは工場や車からでる大量の排気ガスが空気を汚染し、空気が汚れた影響で酸性度の高い雨が降るため森が枯れ、森から流れくるはずの豊かな水が減り、川からの汚れた水が原生し、海が汚れ、貝や魚が住みにくくなつてきているからである。ひと粒の真珠ができるまでに、こんなにたくさんの問題が影響し我々にも同じことが影響している。この環境が少しでもよくなつていくために「NPOひと粒の真珠」はまず広葉樹を植えることから、運動をスタートさせた。広葉樹を植えることにより、栄養ある土から滋養あふれる水が、川から海にたどりつき、豊かな水がアコヤ貝を成育させ美しいアコヤ真珠を生みだすのである。今からでも遅くはない、ぜひこの活動に参加して、できるところから一步ずつ進めていこう。一口1000円から、寄付金を募っている。くわしくは「NPOひと粒の真珠」 <http://www.npo-hito.tsubu.com>



佐
本
産
科

ママといっしょに



まつり
あかちゃん：奥野茉莉ちゃん
(平成14年9月11日生まれ)

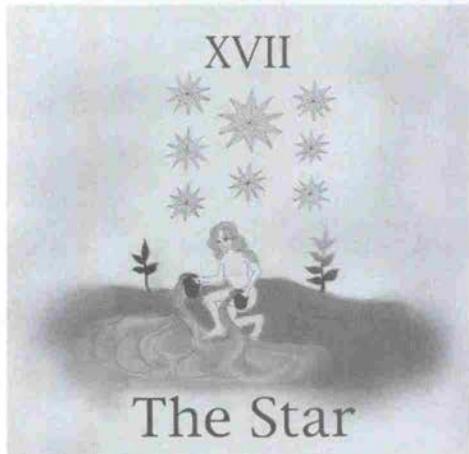
パパ：利男さん
ママ：暁子さん

「すぐすくと元気に成長して、これか
らもとびきりの笑顔を見せてね。」

★佐本産科・婦人科★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL: 078-575-1024 (病室TEL: 078-577-7034)
市バス上沢4停南スグ
●駐車場完備●

タロットこぼれ話《星》六月の運勢



The Star

ローマ数字のXIIIの下一桁の7番、7つの小星に囲まれた大星。

いつの世でも7という数字は幸運を呼び込むものだと考えられてきた。

裸の女性の両手から流れしていく水はやがて泉となるほど増えていく。

何事も独占欲をもって取り込むことよりも裸になり全てのしがらみを放棄することで本当の幸せが広がっていくことを意味する。

この世の“物”すべてはかろうじて生きている間の“借り物”なのだ。

たとえどんな財産であろうとあの世には運べないのである。

世界のタロットが120種類

タロット美術館

心の問題・家族・職場・恋愛

運勢カウンセラー 笑生



各駅の神戸歴史ウォーク(5)



六甲道駅

田辺眞人

川、武庫郡などと表記され、のちに六甲（ムコウ）山の字でも書かれた。この六甲山（ムコウヤマ）がいつしか誤られて「ロックウサ」（ロックウサン）と読まれてしまうと、本来の語意がわからなくなつた。漢字の意味から、神功皇后が六つの兜を埋めた山だなどと伝説されるようになつてしまつたのである。江戸時代に書かれた『攝陽群談』や『摂津志』や『摂津名所図会』が、いずれも「武庫山・一名六甲山」と記していることからわかる。

多くの神戸っ子が、関西空港から湾岸線を飛ばして大阪あたりまで来た時、海の彼方に六甲山が見え出すと、ああ帰ってきたと感じるという。一方、大阪から転入してきて数年神戸に住んだ人でも、六甲山に対するそういう気持ちが理解しにくくと言ふ。神戸にとつてやはり六甲山は母なる自然であり、この山に抱く独特の感情が神戸っ子を測るパロメーターなのかもしれない。JRの列車からだと六甲道駅に近づく時の、北側の窓から見る六甲が絶景だと思う。西六甲の山々が屏風のように立ちはだかるのだが、神戸から見る六甲山は東西に長くつづく巨大な城壁のようでもある。

しかし、大阪や尼崎から見た六甲の山容は、南北にも相当量感がある。古代、大和の国から大和川沿いに浪速（大阪）に出た人々は、大阪湾のかなたにある山や里を遠望して、ムコウの山・ムコウの川と呼んでいた。漢字が伝来して漢字が当てられる、「向（ムコウ）山でいいのだが、地名は漢字二文字で表記することになり、ムコウの音に当てた二字で武庫山、武庫

の山、武庫郡などと表記され、のちに六甲（ムコウ）山の字でも書かれた。この六甲山（ムコウヤマ）がいつしか誤られて「ロックウサ」（ロックウサン）と読まれてしまうと、本来の語意がわからなくなつた。漢字の意味から、神功皇后が六つの兜を埋めた山だなどと伝説されるようになつてしまつたのである。江戸時代に書かれた『攝陽群談』や『摂津志』や『摂津名所図会』が、いずれも「武庫山・一名六甲山」と記していることからわかる。

六甲道駅の近くに来ると、私はいつも悠久の山と人との歴史を感じてしまう。六甲山周辺には、役の行者や法道仙人などが奈良時代以前に開いていた霊場を、弘法大師などが寺院として創建した伝説する古い寺院が多い。これは、奈良時代に政治と癒着して堕落した仏教を改革しようと、平安初期に清淨な山に入った修行僧たちが、山中で日本古来の山岳信仰の行者に出会い、両者が影響し合って、修行のための山岳寺院が出現した仏教の歴史を反映した説話である。明治初めに神戸の居留地にいた外国人が近代的リゾート地として六甲山を開発するはるか以前から、我々の先祖は修行のために六甲山地に登つていた。六甲山地全体が修行場で、十善寺や鷲林寺や神呪寺や塩尾寺や多聞寺などは入山口であり、比較的山奥には再度山大龍寺や摩耶山天上寺があつた。山内の険しい岩場は格好の行場で、最高峰の西の雲ガ岩・心経岩一帯や最高峰東の石の宝殿の地がその中心であった。六甲山麓の各地に山中で天狗に会つたという話が伝わつていて。天狗のいた岩場を麓の農民は天狗岩と呼んだ。山中の行者を天狗だと思ったのである。行者銀座とでもいべき天上寺と大龍寺を結ぶ岩尾根は、今も天狗道と呼ばれている。天狗岩というのは、天狗の鼻のように突き出た岩ではないのである。

中世、戦乱の時代になると、平地を鳥瞰できる急峻



①



②



③

① 現在の天王寺
② いわれがユニークな天狗岩
③ 石屋川



②

な山頂には城が築かれた。山岳寺院が城として利用される場合もあった。再度山の多々部（ふたび）城、芦屋の鷹尾山城、布引の滝山城、北区山田の丹生山城などが築かれ、天王寺を利用した摩耶山城の激戦は『太平記』に詳しい。

江戸時代になると山麓の農民も柴刈りや水源の流れの保全など、生活のために入山し始め、山の権利をめぐって激しい山争いも行われるようになった。農民たちは山中の谷を土手でせき止め、溜め池を作った。山中には石の宝殿や芦屋川の弁天岩のような雨ごいの靈場もあった。六甲山地の多くの急流は十七世紀から水車を利用されており、その名残が芦屋川の水車谷、住吉川の五輪場や八輪場、六甲川の水車新田などの地名である。江戸初期には水車は菜種油を絞るのに利用され、やがて製粉にも利用されて元禄時代の灘は大和の三輪と並ぶ素麺の产地になっている。十八世紀半ばから灘で酒造が始まると、山中の水車が良質の酒米精製の支えとなつて、灘の生一本を育てた。水車産業の背景に臼用の良質な石材があったことも重要である。六甲山の断層面には、本来地中深くにある花崗岩が露出している。六甲山中の「石切り道」は石材切り出しの名残である。切り出された石材は麓の川の土手で加工されて、御影の浜から船で各地に搬出された。その川に石屋川の名がつき、御影の浜から来た石材なので花崗岩を一般に御影石と呼ぶほどになったのである。

列車の窓から六甲山が見えた時、近代のリゾート開発の以前に、このような六甲山と関わった先人たちがいたことも思い出していたいただきたい。

兵庫区歴史花回道ウォーキング
清盛の雪の御所跡、千鳥が滝などを訪ね、
鳥原堰堤・漢川隧道を見学。

6月21日(土) 小雨決行
受付 13時(スタート: 13時30分)
集合場所 湊川小学校(市バス「石井橋」停留所東)
参加無料・要申し込み
お問い合わせ 兵庫区役所(078-511-2111)



たなべ まさと
1947年、神戸生まれ。兵庫高校・関西学院大学文学部卒業。現在、園田学園女子大学国際文化学部教授。地域史研究で神戸市文化奨励賞、神戸市文化活動功労賞を受賞。また、ニュージーランド学会副会長や宝塚市教育委員をもつとめる。『神戸の伝説』・『神戸の100年』・『ニュージーランドの風土と生活』など著書。監修多数。

パロデイ「赤鬼」に託されたメッセージ 中右 瑛

信州小布施への私の旅は、北斎センセイの晩年の行動を知るうえで大きな収穫となつた。がしかし、ナゾは残つた。

まるでスーパー・マン並みの北斎センセイの行動。中風を患い、死の直前の高齢でありながら、六泊七日以上もかかる信州小布施へ、果して四度も敢行出来たかどうか。旅行好きとはいえ、何とも不可思議である。

その小布施旅行のおよそ数年前にも、ナゾの旅行を敢行したのである。

天保五年（一八三四）、七十五歳の冬からおよそ一年間、江戸よりおよそ七十キロ離れた相州三浦半島の浦賀に潜居し、名も三浦八右衛門と変名した。あるいは百姓八右衛門、上村仁三郎とも称した。

この間、北斎センセイの行動はナゾを極めた。浦賀に、一体何をしに行つたのかがまったく不明。ここでもスパイ説が登場する。

当時、浦賀は日本中で最も物騒なところ。浦賀沖にはアメリカ船やオロシア船が出没し、いつ上陸するか、

幕府も警戒し、住民たちも恐怖におののいていた。

鎖国日本に開国を迫つたベリーカム航のおよそ十九年前のことである。

北斎センセイは幕府の隠密となって、黒船の動勢や民衆の気運を探つていたのである。

北斎センセイは一年後の秋、江戸に舞い戻り、その後に世にも不可思議な絵を画いたのだ。

「弘法大師修法図」と題され、タテ百五十粁、ヨコ二米四十粁の巨大な絵である（掲載写真参照）。この絵は、北斎センセイ晩年の大





作というだけではなく、開国騒擾の世相パロディーであり、北斎が後世に伝えたいメッセージが込められているというのである。

絵は、ドス黒い暗闇の大画面に、大きな赤鬼が弘法大師を襲うという衝撃の大画面である。画面イッパイに突出する程に巨大に描かれた赤鬼のいかめしい表情。眼光鋭く、大きな口をあけ鋭い牙をむく。手には長いコン棒、一方の手にはしばり繩を持つて、大師を威嚇する。闇夜の天空には新月が青く冴え輝き、大師の背後の白い犬は怯えるかのように吠えしきる。

中右 瑛講演会

「夢一・四つの恋ものがたり」

歌エスト・千寿慧（元タカラジェンヌ）

宵待草、すみれの花など大正の抒情歌
平成15年6月22日 午後2時

サンシャインホール
(兵庫県津名郡東浦 0799-74-0250)
入場無料（入場整理券必要・希望者はホールまで）

世にも恐ろしい壯絶のシーンではあるが、経典をかかげて一心に祈る微動ともしない大師の姿が、印象的ですらある。なんと奇っ怪で凄まじい光景であろうか。

さて、この図について、「開国予測図」であるという説をブッタ男がいた。「北斎の隠し絵」（AA出版・一九八九）の著者・荒井勉氏である。荒井氏の説によると、大師を襲う「大鬼」は西洋人、即ちアメリカを象徴しているという。パンツをはいで、まとう着衣の柄は「十文字型」キリスト教の十字架である。

大師の背後の犬は白狼で、日本人を意味しているという。

私は、白狼すなわち日本人説は反対だ。私は、白狼はオロシア（ロシア）であろうと推測する。

アメリカは日本に開国を迫り、背後には大ロシアが牙をむく。大師に見立てられた日本は、いかにすべきか。開国か？鎖国続行か？外圧に押され崖っぷちに立つ運命の決断に悩む日本の姿が見てとれるのである。荒井氏は「弘法大師の姿は、一人で闘う葛飾北斎の姿である」と結んでいる。

北斎センセイのメッセージは何か？この北斎センセイの絵から、幕末騒擾の時代が見えてくるのである。

■中右 瑛（なかう・えい）

抽象画家。浮世絵・夢ニエッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数

『智恵子抄』以前

浅黄斑あさきば 絵・犬童徹いんどう とおる



タイトル、ご覧になりました？ 今回は、えらく文学的でしょう。えへん！

薰る風に誘われ、久しぶりに神戸旧居留地を歩いていて、ふつと思いついたことがあります。何かというと、この町名です。京町とか江戸町とか、浪花町とか。なにやらイワクがありそうなのに、そのわけが分からぬ。第一、外国人居留地

として造成された一画に、なんでこんな名が？ なんでだろう？ 実は以前から、それが気にかかるつていて、いつか調べてみようと思いながら、ついつい忘れていたのです。それを思いだしてしまった。

つまらぬことを気にするやつだと、おっしゃらないでくださいね。気になるわけは、実は、もうひとつあつたんです。

それはともかく、調べてみました。分かりまし

たね。命名されたのは、居留地が町らしく整った明治五年。名づけたのは、初代の兵庫県知事で、居留地開設の責任者だった伊藤博文。昔の千円札の顔だね。東遊園地の西側が伊藤町というのは、その名残らしい。同時に、ああそうだったのか、ともうひとつ疑問も氷解して、にやりとした次第です。

ええとですね。東京都中央区にも浪花町というのがありますが、ここが最初に吉原ができたところ、元吉原です。で、火事で引っ越して新吉原ができるますが、吉原五町といつて江戸町一丁目と二丁目、京町一丁目、二丁目、それに角町からなつていた。そんなことで小生、はしなくも居留地にくるたび吉原を連想したんだね。連想するほうが悪いといわれれば、まあ、そんなんだけね。

でも、名づけたのが伊藤博文なら、こりや、も

う大納得です。伊藤さんといえば、色好みというより、病的なほど女好きですもん。兵庫にやってきて、真っ先にやったのが、福原という遊郭を造つた人ですもんね。いえ、別に伊藤さんには恨みは持つていませんが。で、伊藤さんは、たぶん、こう考えた。異国人が住むこの町に、吉原の名をつけてやろう。そんなところじゃないかな。命名はしたものの、この町名が行政的に使われるは、居留地返還のことだから、やっぱり遠慮があつたんだな。うん。

話はほんと飛びますが、吉原の角町に角海老といふ江戸時代から続く老舗があつて、この屋号は今もその世界じゃ名門だそうな。ともかく明治の頃、この角海老に若き日の志賀直哉や里見弾がせつと通っていた。のちに直哉はこの時期を「放蕩時代」と、里見は「墨汁五合の時代」と苦々しく振り返っています。墨汁を五合も飲んだくらい、いやな気分の時期だったのでしょうか。

らしいの店を大いにはやらせた。この人のすごさと
ころは、各店の女将に、三人の妹を除くと、すべ
て愛人を据えたこと。それそれに産ませた子供は、
合計三十人。このうちには、画家の木村荘八や、
作家荘十などもおります。それにしても、明治の
男は元気だったんだなあ。

さて若太夫にふられた光太郎は、若太夫への断ちがたい思慕を何編かの詩に託していますが、次に浅草雷門にあつたレストラン「よか楼」へ通い始めます。お梅という女給が目当てですが、お梅がほかの客について自分のところへこないと、ヒール瓶を叩きつけたりテーブルをひっくり返したといいますから、よほど、荒れていたんですね。

さすがに、このままじゃ駄目だと感じて光太郎は北海道へ向かいますが、やがて帰京して、のちに妻となる長沼智恵子と知り合います。なんでも、若太夫に面差しが似ていたというから、まだ未練があつたのでしょうか。

さて光太郎は、智恵子と結婚後に処女詩集「道程」を上梓しますが、第一番目の詩は「失われたモナ・リザ」です。そんなこんなを知つて、この詩を読めば、また違つた光太郎に出会えるかもしれません。

ちょうど同じ頃、高村光太郎のほうは、京町二丁目の河内楼に熱心に通っています。入れあげて いるのは、若太夫といって、本人が記すには「モナ・リザの微笑を持った女」だそうな。恋敵に木村荘太という文学青年がいて、この勝負、結局は 光太郎が負けます。ちなみに荘太の父親は、「いろは」という牛鍋チエーン店を創業した木村荘平 で、目標四十八店は達成できなかつたが、二十く

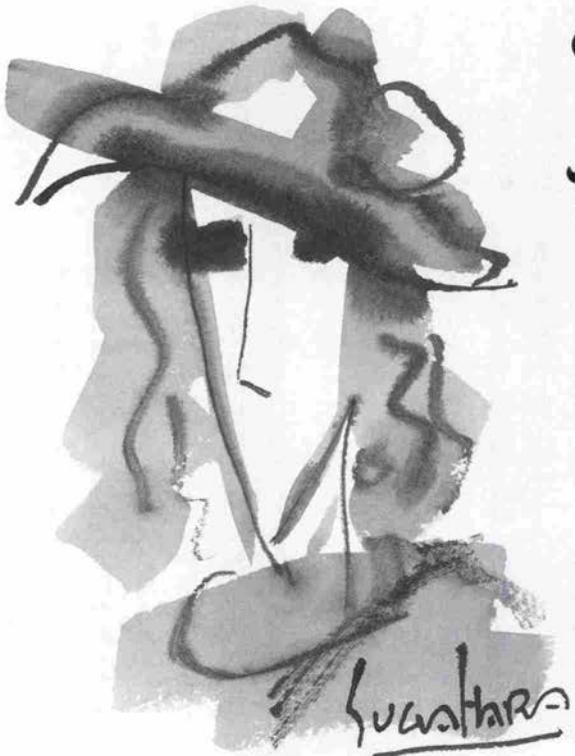


市井浅黄斑（あさぎ）
理新生賞（ヨウタク賞）
一九五五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ文部部長、「きょうも風さえ吹きすぎる（ちよんがれ西鶴）」「櫻島殺人海流」「トカラ海上殺人前線」など著書多数。

えらいこつちや

出石アカル

絵・菅原 洸人



腰が軽いというか、尻が軽いというか、とにかく身の軽い人である。細身である。元気なおじさんである。オヒヨイ、こと藤村俊二に似ている。一度一緒に飲みに行つたことがあるが、一ヶ所に腰を落ち着けてはいない。席が温まる間もなく

飲み屋で女の子に「そのオッパイ本物か？触らへんから、いっぺん俺の背中に押しあててみて」と言つたりするが、不思議と厭味がない。浮田さん、笑顔が明るいのだ。

もう70歳に近いが、色氣があつて気が若く、髪をいつも染めている。しかし手入れが行き届いてなくて、裾の方から白髪が覗いていたりもする。

数年前、勤めていた塗装関係の会社で定年になり、あと嘱託で残つてくれと頼まれたのだが、大幅な減給を拒否してあっさりとやめてしまった。ところがその会社、後日、この人の人脈での仕事が入らなくなつて、給料考査直すから戻つてほし

いと言つて來たという。しかし彼はすでに、さつさと自分で事業を始めてしまつてゐた。

よく遊ぶが、仕事も出来たのだ。営業しながら現場もこなし、取引先の担当者をポケットマネーで接待もしていた。会社は彼の評価を誤つたのである。気がついた時には遅かっただという訳だ。

「あいつのコレが、アレでナニになって、こいつのアレが、ナニでコレやがな」と、この人の話は訳が分からぬのだが、親指と人差し指で丸を作つたり、小指を立てたり、親指を突き出したり、首を切るふりをしたりと、さかんに指が踊つて、大体分かるのである。

一人で來た時は、一しきり喋つたあと、いつも週刊誌を見つめている。まずグラビアのヌード写真を見て、次にちょっとエッチな読み物を、そばに誰がいようと恥ずかしげもなくページを開いたまま読んでいる。明るいスケベなのだ。

また博奕が好きで、財布にはいつも、宝くじや馬券や競輪の車券がいっぱい詰まっている。よく資金が続くものだと思う。

いつだつたか、彼女のケータイ番号で買ったナンバーズ宝くじで百万円当たつて、彼女に半分やつたという。気前もいいのだ。

その宝くじの話。

「ナンバーズ宝くじ、毎回買つてゐるやうだ。彼女のケータイ番号、俺のケータイ番号、それから車のブレートナンバー。この前、買つて行つて、思つたら急に仕事が入つて、高槻まで行つた

んや。帰つて來てから買つても、充分間に合つと思つたんや。そしたら途中、高速で事故やつとつて渋滞やがな。車動きよらへん。結局間に合

わんや、その日、買えんかったんや。そやけど、この前当たつたとこやから、まあ続けては当たらんやろ思つたら、発表見たら当たつたんやがな。ずーっと長いこと買つて來とつてからに、たまたま買えなんだ時に、俺の車の番号が來たんやがな。えらいこっちゃん、二百万やで、二百万。いつも二口買つてたから、四百万円。それから三日ほど寝られるかいな」

この人は、運がいいのか悪いのか。この前当たつて、また当たるところだったのだ。

その浮田さんの最近のドジ話。

「家におる時にケータイがかかるつて來たんや。いつもはマナーにしとるのに、鳴つてしまつて、嫁はんがそばにおつたんやがな。やっぱり女からやつて、ごまかしながら喋りよつたら、女も気がついたらして「間違い電話のふりして切り。またねバイバイ!」言いよつたんや。俺もつられてついうつかり「バイバイ!」ゆうてしもた。えらいこっちゃんがな。」

ホントにこの人の人生、どうなつて行くのやら。当分は「えらいこっちゃん、えらいこっちゃん」で進んで行きそつうである。

いづし・あかる。'43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コヒーラップの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。